

草加市議会

保守最大会派が分裂

新市立病院建設で対立

草加市議会の保守系最大会派「自由市民クラブ」が十二日、新市立病院建設問題に絡

む意見対立から「自由市民クラブ」十一人（島崎幹也団長）と「自由クラブ」八人（岡田

議長に浅井氏

副議長瀬戸氏

草加市議会

草加市議会は十二、臨時議会を開き、議長に浅井満夫氏（左）自由クラブ、副議長に瀬戸健一郎氏（右）自由市民ク

れをそれぞれ選出した。浅井氏は、九〇年十一月から九一年十二月まで議長を務めたことがあり、二度目。瀬戸氏は、文教経済常任委員会副委員長、一般会計決算特別委員会委員長などを歴



浅井 満夫氏



瀬戸 健一郎氏

恵有団長）に分裂した。

十月に開会した臨時議会では、一般会計補正予算案の中

婚本 新一

シオノの漢物

川越0492(43)1222

に病院建設予定地の柿木町付近の測量委託料約千三百四十万円が含まれていたことから、建設場所、財政問題などをめぐって会派内でも意見が

分かれ、激しい議論となった。同臨時議会提出議案は可否同数となり、議長採決で否決された。

自由クラブは、一部八潮市八条にまたがる柿木町の民有地に新病院を建設するという市長提案の建設地におおむね賛成の意向。一方、自由市民クラブは、財政的裏付けの欠如、新病院は市中心部に建設すべきという意見から建設に慎重な構えを見せている。

また、「社会民主党草加市議団議員団」の三人が全員離党し、「民主クラブ」（新井貞夫団長）に名称変更した。同市議会の新会派構成は、自由市民クラブ十一人、自由クラブ八人、公明草加市議会議員団七人、日本共産党草加市議会議員団六人、民主クラブ三人、無所属一人となった。

4/13